

Auto Color Awards 2011応募要綱

The preliminary screening 17th November 2010

The secondary screening 15th December 2010

財団法人日本ファッション協会 流行色情報センター JAFCA 主催

Good Color For Good Car

いい車は色が美しい Auto Color Awardsは、13回目を迎えます

豊かで情感に富んだ色彩は、なにもアートだけに存在するものではありません。

歴史と伝統に育まれた社会文化を持つ国は、アートだけではなく、さまざまな商品にも情感に富んだ優れた色彩を生み出すことが出来るものです。色彩の持つ豊かさとは、いわばその国が持つ社会文化の豊かさそのものと言えます。

生活の中で志向される色彩は、時代とともに遷り変わります。つまり色彩はその時代の人々の意識を反映しているのです。

私たちは優れたカラーデザインを広く伝えることで、情感豊かな生活の実現に寄与いたします。

オートカラーアワードとは

オートカラーアワードとは、自動車のカラーデザインの企画力や形との調和を含む、自動車全体のカラーデザインの美しさを評価する顕彰制度です。

目的

社会環境、経済、他の業界のデザインに対しても大きな影響力を持つ自動車のカラーデザインを顕彰することにより、自動車市場に新たな話題を提供し市場を活性化するとともに、消費者が美しいカラーデザインを生活に取り入れ、情感豊かな生活を創造することに寄与します。

- 情感豊かな生活創造に寄与する、優れたカラーデザインを消費者に広く伝えます。
- 自動車市場に新たな話題を提供し、市場を活性化します。
- カラーデザイン開発の質の向上を目指します。
- カラーデザイナーの仕事とその意味を紹介することで、後進のカラーデザイナーを育てます。

- 主 催** (財)日本ファッション協会 流行色情報センター (JAFCA)
理事長 馬場 彰 (株・オンワードホールディングス名誉顧問)
- 協 力** 文化女子大学 文化服装学院
- 後 援** 日本商工会議所 東京商工会所
社団法人日本インダストリアルデザイナー協会
社団法人日本インテリアファブリクス協会
財団法人日本産業デザイン振興会
社団法人日本自動車工業会
日本自動車輸入組合
日本テキスタイルデザイン協会
社団法人日本塗料工業会

授与される賞

1.グランプリ 1デザイン (グランプリ・ファッションカラー賞審査委員会で選考。詳細は審査組織参照)

2.ファッションカラー賞 1デザイン (グランプリ・ファッションカラー賞審査委員会で選考。詳細は審査組織参照)

※審査委員特別賞※場合によって設けられます。(グランプリ・ファッションカラー賞審査委員会で選考。詳細は審査組織参照)

3.オートカラーデザイナーズセレクション 4デザイン

(オートカラーデザイナーズセレクション委員会で選考。詳細は審査組織参照)

エクステリア部門賞

インテリア部門賞

企画部門賞

技術部門賞

※特別企画 文化女子大学セレクション 1デザイン

(文化女子大造形学部の精鋭20名が、それぞれの視点から評価し、討議の上1カラーデザインを選考。)

審査組織 （敬称略）

オートカラーアワードは、総合的な見地から質の高いカラーデザインを選ぶため、2つの審査機構を設定しています。

●グランプリ・ファッションカラー賞審査委員会（以下GF審査委員）

ジャーナリスト、デザイナー等の分野で活躍されているカラーデザイン有識者で組織されています。

委員長 有元正存（自動車デザイン評論家）

副委員長 内藤拓男（色彩計画プロデューサー）

審査委員 池西美知子（伊藤忠ファッションシステム（株）クリエイティブディレクター）、
伊藤正道（イラストレーター）、岩崎一郎（プロダクトデザイナー）、玉井美由紀（CMFデザイナー）
大澤かほる（財団法人日本ファッション協会 流行色情報センター 副所長）

○オートカラーデザイナーズセレクション審査委員会（以下ACD審査委員）

JAFCA自動車色彩分科会メンバー代表 各社1名

JAFCA自動車色彩分科会メンバー：スズキ（株）、ダイハツ工業（株）、トヨタ自動車（株）、
日産自動車（株）、富士重工業（株）、（株）本田技術研究所、三菱自動車工業（株）、マツダ（株）

審査基準

グランプリ

- 今後の自動車市場、デザイン界への影響力がある。
- 新たなカラーデザインへの開拓精神に富んでいる。
- エクステリア、インテリアともに最も優れている。

ファッションカラー賞

- 時代の価値観やライフスタイルを先鋭に表現している。
- 自動車の性格が明確に表現されている。
- 消費者のライフスタイルへの影響力がある。

オートカラーデザイナーズ・セレクション

エクステリア部門賞 ●エクステリアのカラー表現が最も優れている。

インテリア部門賞 ●インテリアカラーの表現が最も優れている。

企画部門賞 ●新しいカラーデザインを開発するための企画力に最も優れている。あるいは、新しいカラーデザインの告知、提案力に最も優れている。

技術部門賞 ●エクステリア、インテリアのいずれかで、新しいカラーデザインを開発するための技術力が最も優れている。

審査方法

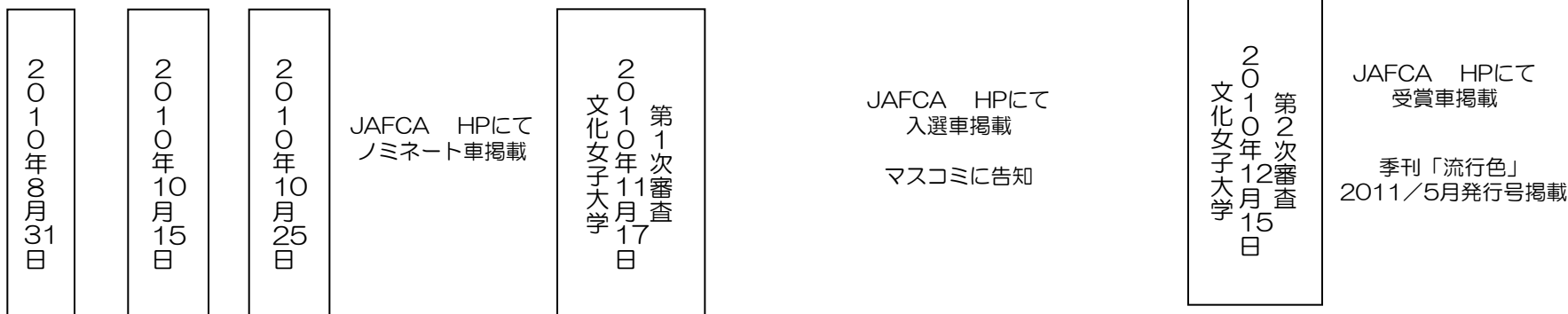
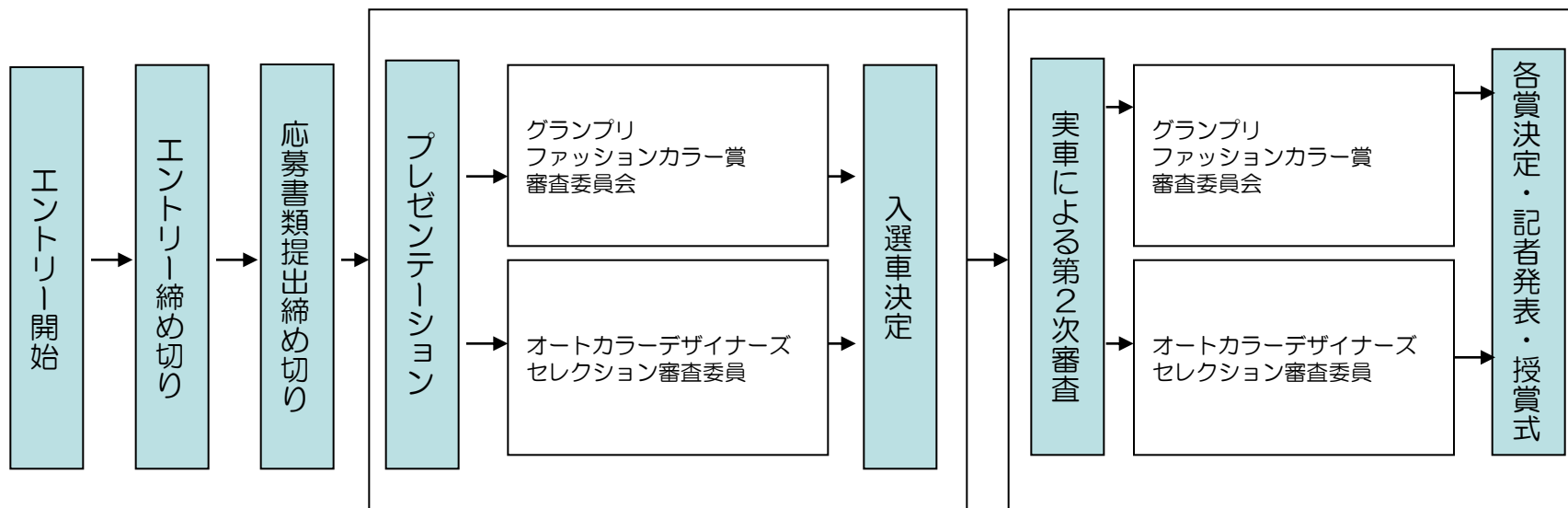
第1次審査

- プレゼンターは、塗板（指定カーブパネル）と、イメージパネルによる3分間のプレゼンテーションを行う。質疑応答は、全てのプレゼンテーションの終了後に行う。（希望があれば、デジタル画像、アナログ画像（ex.紙芝居）の使用可。）
- GF審査委員は、グランプリ・ファッションカラー賞にふさわしいと思われる10カラーデザインを、ACD審査委員は、オートカラーデザイナーズセレクション賞にふさわしい自社以外の10カラーデザインを選出する。
- 第2次審査候補車は、各々の委員会別に獲得した票数の上位10カラーデザインとするが、最大数は、15カラーデザインとする。同票数が多数の場合は、決選投票を行う。
- 各審査委員は、自分の選出したカラーデザインについて、評価した点のコメントを書く。

第2次審査

- プレゼンターは、実車前で2分間のプレゼンテーションを行う。各審査委員は、プレゼンターと、直接質疑応答を行う。
 - GF審査委員は、展示車両を審査し、評価シート、相対評価シートに記入していただき、協議の上各賞を決定する。
 - ADC審査委員は、各部門にふさわしいデザインを評価し採点する。
採点方法は、各部門ごと持ち点を10点とし、2カラーデザイン以上に投票をする。
最高得点は5点とし、残りの点数配分は審査委員の考え方にゆだねる。第1次審査同様、自社への投票は禁ずる。
 - 両審査委員は、自分の選出したカラーデザインについて、評価した点のコメントを書く。
- 文化女子大学セレクションは約20名の学生審査委員が評価し、投票と協議の上決定する。

審査の流れとスケジュール



本年度より第1次審査も一般の方へ公開いたします。(事前登録制)

応募資格

- 2010年1月1日～2010年12月末日までに一般消費者に対し、購入できる旨を発表した自動車であること。
- 日本国内市場向けに、生産、販売、輸入されたカラーデザインであること。
- 第1次審査で入選した場合、第2次審査会場に実車を展示できること。（※カラーラインナップでエントリーした場合は、訴求する上で必要と思われる1色をご用意ください。）

審査料

- 基本審査料 自動車色彩分科会メンバー 126,000円（税込み・2カラーデザインまで）
一般 147,000円（ // ）

※応募数の上限は、1社7カラーデザインとし、審査料は3カラーデザイン以上は、1カラーデザインにつき21,000円（税込み）とする

応募方法

指定のエントリー申込書に必要事項を記入の上、FAXまたは、メールにて事務局までお送り下さい。

提出物

- 応募色解説書（指定フォームに記入）
- カタログ 各7部
- エクステリア、インテリア高解像度データ（解像度350dpi サイズ天地120mm以上の横位置でお願いいたします。）
プレスリリース、Web等に掲載いたします。
- カラーデザイナーの顔写真（ホームページ等で紹介、解像度350dpi）、プロフィール（300文字程度）
- 指定カーブパネル（日本ペイント プレゼン用パーツ W600mm×D355mm）に応募カラーを塗装したもの。
（カラーラインナップでエントリーした場合は、代表色以外は指定カーブ以外の小物でも構いません。）
- プレゼンテーションパネル（内外装のコンセプトが伝わるような内容にする）。
W850mm×H1189mm（A0以下）※自立できるもの
※プレゼンテーションに使用する画像等は著作権法に触れないものを使用すること
※展示スペースW90cm×D60cm×H70cm
※高さの制限機の上から120cmまで
※床面への展示は禁止します。規定の範囲を越えた展示物は撤去させていただきます。
※内装素材は、展示スペース内に工夫して展示してください。

広報活動について

- 季刊誌「流行色」に受賞結果の掲載。（約1,000社）
- 一般誌、女性誌、車雑誌に案内、告知を配布。（約200社）
- 自動車記者クラブに、案内、受賞結果配布。（約40社）
- 東京商工会議所記者クラブへの案内配布。
- 個別に記者、マスコミ（Web含む）にアプローチ。
- J A F C Aホームページに掲載。（各社ホームページへリンクをはる。）
- 受賞したメーカーは、広告、宣伝、自社ホームページ等で、幅広く広報活動を行うことをお願いいたします。